

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2015. 6. 10◆◆◆

4月1日付けで建政部長を拝命いたしました渡邊裕と申します。
これから皆様方にいろいろな面でお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願
いいたします。

始めに簡単な自己紹介をさせていただきたいと思えます。

出身は東京都で、四国での勤務・生活は初めてです。これまでは本省各局での勤務
が長く、主に法令関係や訟務関係を中心に仕事をしてまいりました。地方は関東地方
建設局水政課長と東北地方整備局広報聴取対策官として勤務しましたが、その時には
いずれも本省での仕事では得られない貴重な経験をさせていただきましたので、四国
で仕事をさせていただくこととなり、非常に楽しみにしているところです。

趣味は食べ歩きなどを中心とした旅行や名所旧跡めぐりと読書などです。四国には
八十八箇所めぐりという全国的にも有名なトレイルがありますので、在任中にできる
だけ巡っていききたいと思っています。また乱読派の私にとっては四国には歴史上の舞
台となった所も数多くあり、例えば平家物語の舞台や司馬遼太郎の「坂の上の雲」や
「竜馬がゆく」の主な舞台である松山や高知、そして宮本常一の『忘れられた日本人』
で紹介された場所などには是非一度訪れてみたいと思っています。

私の担当いたします建政部の業務は、まちづくり、すまいづくりや建設産業の振興
など非常に幅広く、これらの行政課題に対応していくためには、県、市町村や関係す
る団体はもちろんのこと、地域の方々の幅広いニーズを的確に捉え、四国らしい地域
づくりをお手伝いさせていただくのが使命だと考えています。着任して2か月ほど経
ち、四国のいくつかのまちを回らせていただきましたが、どのまちも個性が豊かで、
ポテンシャルの高さがあると実感しているところです。

四国の現状を1日も早く理解し、四国のために微力ながら全力を尽くしていく所存
ですので、皆様方には今後ご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたし
ます。

四国地方整備局
建政部長 渡邊 裕

■四国南海トラフ地震対策戦略会議の開催について

【企画部 防災課】

四国南海トラフ地震対策戦略会議は、平成23年3月11日の東日本大震災を踏ま
え、四国が一体となって取り組むべき施策や、各機関が重点的に取り組むべき施策等
について、国・県等の行政機関、学識経験者、経済界等幅広い分野の方々の参加の下、
四国地方における南海トラフ地震等の巨大地震に対する「四国地震防災基本戦略」を
取りまとめています。

今回、5回目となる四国南海トラフ地震対策戦略会議を、5月20日に開催致しま
した。

- ・開催日時 平成27年5月20日(水) 15:15～17:15
- ・場 所 高松サンポート合同庁舎 13階 災害対策室
- ・参加者 四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバー
(45機関、約120名)

- ・ 議事内容
 - 1) 平成27年度四国地震防災基本戦略の推進に向けて
 - 2) 報告事項
 - 3) 構成機関からの活動状況発表（6機関）
- ・ 議事概要
 - 会議は、四国地方整備局長より挨拶が行われた後、座長である愛媛大学柏谷名誉教授の進行により進められました。
まず、各構成機関より情報提供いただいた「平成27年度実施予定の主要な取り組み」について、事務局より説明しました。

各構成員からは、以下の意見が出されました。

道路啓開については、医療関係、廃棄物関係等の重要拠点と関連して検討しておくことが必要。【香川大学；白木センター長】

海洋研究開発機構の地震・津波観測システムを活用した津波・浸水予測を四国でも検討して頂きたい。【香川大学；白木センター長】

高知県では、農業タンクの耐震対策を今年度から加速して進めている。また、農業復旧も含むBCP対策も実施している。
【高知大学；原教授】

続いて、「平成27年度四国企業防災戦略トップセミナーの開催」、「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画（内閣府）」、「四国南海トラフ地震対策戦略会議 運営要領の一部改正」について報告を行った後、構成機関により活動状況の発表を行いました。

発表は、
(1) 陸上自衛隊第14旅団、
(2) 四国電力（株）、
(3) 西日本高速道路（株）四国支社、
(4) 国土地理院四国地方測量部、
(5) 気象庁高松地方气象台、
(6) 四国地方整備局
の6機関からあり、構成員からは、以下の感想が出されました。

四国電力・NTTと日頃から連携しており、雪害時も最重要で回復して欲しい基地局の依頼を行い回復して頂いた。また、基地局までの道路啓開についても、県、自治体との連携ができ、良い経験となった。
【（株）NTTドコモ四国支社】

今後も引き続き、関係機関と連携を深め、四国地震防災基本戦略の推進に向け取り組みを進めて参ります。

■重信川・石手川の安全利用点検実施

【松山河川国道事務所 河川管理課】

松山河川国道事務所では、河川の利用者が多くなるゴールデンウィーク前の4月下旬と夏休み前の7月上旬に、河川利用に目を向けた点検を実施し、必要な箇所については応急の対策を行い、安全を確保しています。

ゴールデンウィーク前の点検は、4月20日（月）に重信川、石手川、石手川ダムにおいて実施しました。参加者は事務所職員だけでなく、河川愛護モニター及び公園管理者の延べ46人で実施しました。

点検対象は、堤防、公園、低水護岸、樋門、床止め等の34の施設及びその周辺です。

点検対象結果のうち、6箇所対策が必要なことを確認し、4月24日までに対策を実施しました。

■土砂災害防止月間・がけ崩れ防災週間
～ 日頃の備え・早めの避難が重要です ～

【河川部 河川計画課】

国土交通省と各都道府県では、昭和57年の長崎豪雨災害を契機として昭和58年から毎年6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を全国で実施しています。

また、6月1日～7日の1週間を「がけ崩れ防災週間」と定め関係する行事や活動を実施します。

昨年は8月豪雨に伴い広島県で73名の犠牲者を出した甚大な土砂災害が発生したほか、全国各地で数多くのがけ崩れや土石流等による被害が発生し、土砂災害対策の重要性が改めて認識されました。

平成27年度の土砂災害防止月間は、行政のみならず住民参加を主とする諸行事や活動等以下の内容について重点を置き実施します。

- 1) 土砂災害に対する危険性を十分に周知するため、様々な手法を活用した幅広い広報の実施
- 2) 様々な手法を活用した土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域等の周知徹底
- 3) 住民自身が的確な避難行動をとるためハザードマップや避難場所・避難経路の周知徹底
- 4) ハザードマップの活用や土砂災害の発生時刻、発生形態に応じて住民自身が適時・的確な避難行動を取るため、多くの住民が参加した実践的な防災訓練や防災教育の実施
- 5) 土砂災害警戒情報が発表された場合の都道府県から市区町村への情報伝達体制及び住民への周知方法の確認
- 6) 大規模な土砂災害が急迫している場合に通知される土砂災害緊急情報に基づく警戒避難体制の整備推進
- 7) 防災上の配慮を要する者が利用する施設の管理者に対する土砂災害の危険性に関する周知及び避難体制の整備促進
- 8) 砂防設備等の点検及び砂防指定地等の周知・点検の徹底
- 9) 砂防関係工事における安全確保の徹底

6月7日には「土砂災害・全国統一防災訓練」が行われ、県と市町村が国土交通省と連携して、住民参加の訓練を実施します。

なお、期間中は、このほかにも四国山地砂防事務所や四国各県において様々な啓発活動を行いますので、皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

■愛媛大学生が土木工事の魅力を感じ

【松山河川国道事務所 工務第二課】

松山河川国道事務所と愛媛大学工学部は、土木工事の魅力や公共事業が担う役割について考える機会を提供することにより未来を担う若手技術者の育成支援につなげることを目的として、毎年愛媛大学工学部の1回生を対象に現場見学会を開催しています。

今回見学を行う松山外環状道路は、松山IC～松山空港までのアクセス向上や市内の渋滞の解消・緩和を目的に、国土交通省・愛媛県・松山市で事業を進めています。

現在は松山外環状道路インター線（全線4.8km）の内、平成25年度には井門IC～古川IC（L=1.2km）が開通、平成26年度には市坪IC～余戸南IC（L=1.8km）が開通し、残る古川IC～市坪IC（L=1.8km）は平成28年度開通に向けて工事を推進しています。

また、松山外環状道路空港線（全長3.8km）では用地買収、橋梁工事等を進めているところです。

今年度の現場見学会は、4月21日（火）と5月12日（火）に開催し、愛媛大学工学部環境建設工学科の1回生約100名（2日間で各50名ずつ）が松山外環状道路インター線の橋梁上部工事、松山外環状道路空港線の橋梁下部工事の見学を行いました。

参加した学生は、工事中でなければ見ることの出来ない橋梁上部工の鉄筋組立や橋脚の施工に係る仮設状況などを見学しました。未来の土木技術を担う学生たちは、工事中の現場ならではの迫力に興味津々といった様子で、大学でこれから学ぶ専門知識がどのように役だっているのかを体感することにより、橋の上からの景色も楽しみながら習得していただけたと思います。

■高松サンポート合同庁舎（南館）
着工記念式典・事業報告会について

【営繕部 計画課】

四国地方整備局が昨年度発注した「高松サンポート合同庁舎」（南館）工事の本格着工に当たり、平成27年5月23日（土）に、香川県、高松市及び四国地方整備局の共催による着工記念式典・事業報告会を高松サンポート合同庁舎北館13階の四国地方整備局災害対策室で開催しました。

着工記念式典・事業報告会には、地元選出の国会議員や香川県、高松市の関係者など約100名の方々にご参加いただきました。着工記念式典では香川県知事、高松市長の挨拶の後、来賓祝辞、祝電が披露されました。事業報告会では四国地方整備局長の挨拶の後、営繕部長が事業概要の説明を行い、最後に工事現場の重機始動を遠隔指令する工事開始式を行いました。着工記念式典・事業報告会の様子は、一般の来場者に向けて低層棟1階アイブラザにおいてモニターで中継され、事業概要等のパネル展示とともに公開しました。

今回の南館整備により、市内に散在する国の官署を集約して利用者の利便性等を向上させるとともに、南海トラフ巨大地震などの大規模災害時に、北館とともに四国地方の広域防災拠点としての機能を発揮する効果が期待されています。今後は、平成29年度の完成に向けて、鋭意工事を進めてまいります。

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

***** 「いきいき四国通信」事務局 *****

「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部
【担当】石井（内3126）、仙波（内3176）
〒760-8554 高松市サンポート3番33号
電話（087）851-8061／FAX（087）811-8408
<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》